

## 人生最後の「ありがとう」のために。

地域に愛される会社でありたい。

これは今も昔も変わらない、長浜セレモニーの根幹となる想いです。

私たちが目指すのは、

お葬式を執り行なう“業者”としてのお付き合いではありません。

お葬式だけでなく、地域の催しでも皆様から必要とされるように。

長浜セレモニーに関わるすべての方から

「おかげさまで……ありがとう」と言っていただけるように。

ご家族・地域の皆様の「気持ち」に寄り添う、

ライフパートナーでありたいと思っています。

100人いれば100通りの人生があるからこそ、

どれもが「世界に一つだけのご葬儀」に。

お集まりいただいたすべての方が、

故人様の思い出を分かち合い、生きた証を心に刻めるよう、

一人ひとりの想いを形にしたお葬式を実現いたします。

手間暇を惜しまず、人生最後の「ありがとう」をお手伝いを。

地域でのご縁を大切に、

社員一同「こころ」を込めてご奉仕させていただきます。

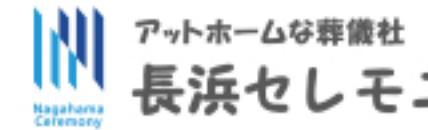


長浜セレモニー株式会社  
サポート部



心のこもったあたたかいお葬式を届ける

想いを伝える、ということ。



アットホームな葬儀社  
長浜セレモニー 家族葬の♥ ウィズユー



心のこもったあたたかいお葬式を届ける

私たちは常にお客様に満足いただける企業として感謝の「こころ」でご奉仕します

私たちは常に「こころ」から愛される企業として地域社会に貢献します

私たちは常に尊敬と愛情と信頼で結ばれ「こころ」をひとつにして協力の精神で社運の発展に努めます

お客様に安心と満足をご提供し、地域に愛される会社でありたい



地域の事情に精通した  
地域密着の葬儀社



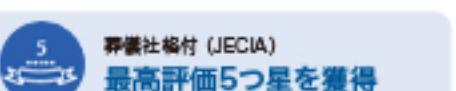
お葬式の費用を1円単位でお見積り  
明瞭価格で安心のプラン



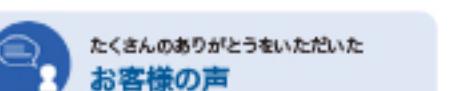
ご縁を大切に  
心をこめたご提案



地域密着の葬儀社だからこそできる  
充実のアフターサポート



葬儀社検討（JECIA）  
最高評価5つ星を獲得



たくさんのおありがとうをいただいた  
お客様の声

### ■式場一覧



滋賀県長浜市高月町  
柏原396-1  
パワーズさん斜め向かい



長浜式場  
滋賀県長浜市加納町  
341-5  
長浜ICより車で3分



滋賀県長浜市宮前町6-4  
旧国道8号線沿い



近江式場  
滋賀県米原市頭戸632-4  
頭戸南交差点角

葬儀のことなら何でもお気軽にお問い合わせください



0120-09-8395

通話無料 365日24時間受付

会社名 長浜セレモニー株式会社  
本社所在地 〒526-0804 滋賀県長浜市加納町341番地5  
TEL 0749-64-3415 FAX 0749-64-3416  
代表者 代表取締役 松村隆雄  
設立 2001年7月

ホームページはこちらから▶▶▶  
<https://nagahama-ceremony.com/>



## 想いを伝える、ということ。

これまでの人生、良いときもあれば、悪いときもありました。それは誰だって同じ。平坦な人生などなく、幸せな事があれば辛い出来事に直面する事もあると思います。私自身、辛い出来事にぶつかり「自分の人生の在り方」が分からなくなつたときがありました。

そんなときに支えてくれたのは、家族でした。その時を思い返すと「本当にありがとうございます」と、感謝の気持ちが溢れます。改めて自分はどう在りたいかを考えたとき、私は「人の為に在りたい」と考えるようになりました。

周りからもらつた愛情を、決して独り占めする」となく、誰かの為になる生き方をしたい。感謝の気持ちを人に渡すことが、人生の中でもとても重要なことだと思ったのです。

そう思つた矢先、偶然目にとまつた長浜セレモニー。

経営理念として掲げていた「仲間に感謝「こころに笑顔」という言葉に惹かれ、選考へ進むことに。滲み出る社長の人柄と穏やかな社風に共鳴し、サポート課として入社を決めました。現在は、葬儀のお手伝いや故人様へのメイク・お着替えなどに携わっています。

若い頃から私は美容やメイクが好きで、美容関係の資格を持つていたのですが、それをずっと活かせずにいました。

今、故人様にメイクをして差し上げる中で、私の経験に無駄なことはなかつたんだと思えます。私が施したメイクで「遺族様が「綺麗になつた」とあたたかな眼差しで故人様を見つめ喜んでくださつた時は、私もあたたかな気持ちになります。本当に良かつたと心から感じるのです。思えば、遠回りな人生だったのかもしません。しかし、私が選んだ選択の全てが、今に繋がっています。良いことも悪いことも、何一つとして無駄なことはなかつたのです。人生の最期には、十人十色のカタチや価値観があると思います。家族には涙だけでなく「良い人生だったね」と明るく、そして温かく讀え見送つてもらいたい……。最期まで家族や周りの人々に想われることが、人生の幸せそのもので、人生の集大成なのではないか。そんなふうに私は思うのです。

葬儀の渦中は、胸が張り裂ける思いであるはずです。しかし、胸に溜まつた想いを伝え、故人様に感謝とありがとうの言葉の花束を贈る。その先に、記憶に残り続ける悔いのないお葬式があるのでないでしょうか。

どんなことがあっても、今に感謝し、今を丁寧に纺ぐ。

その先にはきっと、今の私の想像を超えた私が待つてゐる、と信じて。



The Philosophy of Nagahama Ceremony  
人生最後の「ありがとう」のために。